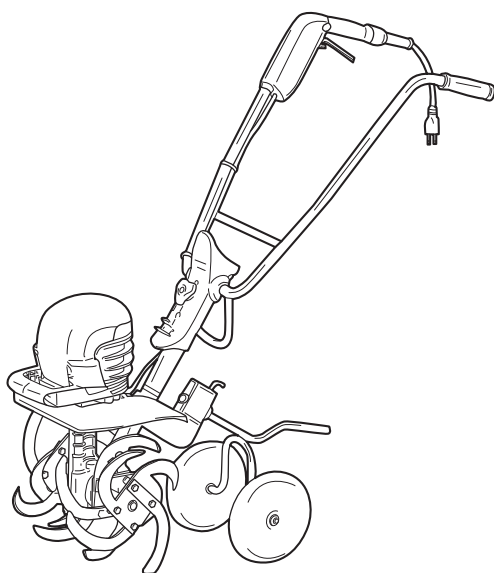


電気カルチベータ(耕うん機) 取扱説明書

ACV-1500

保証書付

回 二重絶縁



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

もくじ

ページ

安全上のご注意	1
電気カルチベータご使用に際して	8
騒音について	12
二重絶縁について	12
ラベル表示について	13
各部の名称	14
仕様	15
付属品	15
用途	15
別販売品	16
ご使用前の準備	17
作業する場所に関して	
漏電しゃ断器設置のおすすめ/延長コードについて	
電源コードの接続/ギヤオイルについて	
抵抗棒・車輪組立の取付け、取外し	19
ハンドル	20
ご使用前の点検	20
使用電源/抵抗棒・車輪組立の位置確認	
スイッチ操作/電源プラグの接続	
電源コンセント	
スイッチの扱い方	22
過負荷保護装置について	23
ベルトフックストラップの使い方	23
耕うん作業	24
電源コンセントに近い方から	
基本的な作業/抵抗棒の使用	
培土けん引車輪	26
中耕車輪	26
スパイラルローター	27
培土器	28
巻込み防止ガイド組立	29
ナタ爪の取付け、取外し	30
ギヤオイルの交換	32
運搬	34
各部取付けネジの点検	35
使用後の手入れ	35
ナタ爪の手入れ	35
作業後の保管	35
修理について	35
カーボンブラシについて	36
故障かなと思ったら	37
保証書	裏表紙

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品について

保守と点検

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

■警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。














誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。			

警告

作業環境



必ず守る

作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。



禁止

可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。

・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因となります。



禁止

使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。

・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

電気に関する安全事項



必ず守る

電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。

・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。



感電注意



必ず守る

パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。

・ 感電するおそれがあります。



感電注意



水ぬれ禁止

電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。

・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。

・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。



感電注意

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品についで

保守と点検

安全上のご注意

警告

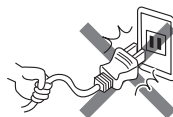
電気に関する安全事項



禁止

電源コードを乱暴に扱わないでください。

- ・電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
- ・電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。



感電注意



必ず守る

屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。

- ・屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。



感電注意

作業者に関する安全事項



必ず守る

油断しないで十分注意して作業してください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
- ・疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
- ・一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。



禁止



必ず守る

十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。

- ・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。



禁止



必ず守る

アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。



禁止

警告

作業者に
関する
安全事項



必ず守る

安全保護具を使用してください。

- 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。



必ず守る

不意な始動は避けてください。

- 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。



必ず守る

電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- 電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。



禁止

無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
- 材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかりと固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



必ず守る

きちんとした服装で作業してください。

- 回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。



禁止



必ず守る

- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。



必ず守る

集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- 集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品についで

保守と点検

安全上のご注意

警告

電動工具の使用と手入れ



必ず守る



禁止

無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。



点検・確認

スイッチに異常がないか点検してください。

- ・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご使用前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。



電源プラグを抜く

意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・保管、または修理する場合
- ・その他危険が予想される場合



必ず守る



禁止

使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

- ・不慣れな方のご使用は危険です。

警告

電動工具の使用と手入れ



点検・確認

電動工具の保守点検をしてください。

- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。



よく読む

- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。



禁止

- ・スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。



必ず守る

- ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。



必ず守る

先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

- ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。



必ず守る

電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。

- ・指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備








使い方

別販売品について

保守と点検

安全上のご注意

警告

整備	<p> 分解禁止</p> <p>電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。 <p> 必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none">・ 修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。 <p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none">・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
その他の安全事項	<p> 点検・確認</p> <p>損傷した部品がないか点検してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。 <p>＜異常・故障例＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。・ 電源コードに深いキズや変形がある。・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。・ 焦げくさい臭いがする。・ ビリビリと電気を感じる。・ スイッチを入れても動かない。 等 <p>すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。</p> <hr/> <p> 必ず守る</p> <p>正しい付属品やアタッチメントを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。 <hr/> <p> 必ず守る</p> <p>材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。 <hr/> <p> 禁止</p> <p>ぬれた手で電源プラグに触れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 感電のおそれがあります。

電気カルチベータご使用に際して

- 先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、電気カルチベータをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

作業の前



必ず守る

使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

- ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。



点検・確認

各部のネジにゆるみがないか、損傷箇所がないか点検してください。

- ・けがの原因になります。



必ず守る

作業には、次の服装、保護具を着用してください。

- ・すそじまりのよい長そで、長ズボン。
- ・ヘルメットなど、労働省検定規格に合格した保安帽。
- ・足元保護のための安全靴。
- ・保護めがねまたはフェイスガード。
- ・耳栓、イヤマフなどの防音保護具。
- ・防振性の高い手袋。



禁止

次のような人、または状況下では使用しないでください。安全な作業ができないため、けがの原因になります。

- ・子供には使わせないでください。
- ・妊娠中の人は使用しないでください。
- ・疲れているとき、病気のととき、酔っているときは使用しないでください。
- ・薬物の影響、その他の理由で、正常な運転ができない人は使用しないでください。
- ・機械の知識のない人や、他の人に機械を借りて作業をするときは、あらかじめ安全作業の指導を受けてから使用してください。また、本機を他の人に貸すときは、取扱説明書を必ず添付してください。



禁止

ナタ爪（回転部）は指定のもの以外は使用しないでください。

事故やけがの原因になります。

- ・ナタ爪や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ・交換時には、必ず指定の純正部品を使用してください。
- ・少しでも曲がり、ゆがみ、亀裂、折れ、損傷のあるナタ爪は、新品に交換してください。
- ・ナタ爪は、確実に取付けられているか点検してください。



必ず守る

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品について

保守と点検

安全上のご注意

警告

作業の前



必ず守る

ナタ爪（回転部）の取付け、交換の際には、爪先にウエスなどを巻付け、手袋を着用してください。

・誤って手が滑り、ナタ爪でけがをしたり、高温になったギヤケースでやけどをするおそれがあります。



点検・確認

小石、ガラス、くぎ、針金、ひもなどの異物を作業場から取除いてください。

・ナタ爪（回転部）に当たり、飛散して作業や周囲の人がけがをする原因になります。



点検・確認

作業場に電線管、水道管やガス管などがないことを確かめてください。

・電線管、水道管やガス管などがあるとナタ爪（回転部）が触れ、感電や漏電、ガス漏れの原因になります。



必ず守る

作業場への出入り、畦道の横断の際は、足元に注意し運搬してください。

・転倒し、けがの原因になります。

安全作業のため



禁止

強風、雨のとき、および夜間は使用しないでください。

・安全な作業ができないため、けがの原因になります。



必ず守る

モーターが作動しているときは非常に危険ですので、絶対にナタ爪（回転部）に手足や顔などを近づけないでください。

・けがの原因になります。



回転部注意

スイッチを入れると同時にナタ爪（回転部）が回転します。

安全を十分に確かめてから始動してください。

・スイッチを入れるときは、ナタ爪の近くに立たないでください。

・周囲に人、動物、障害物がないか十分確認してください。

・しっかり機械を保持してください。



禁止

スイッチを固定して使用しないでください。

・とっさのときに停止することができず、けがの原因になります。

警告



必ず守る

- 無理な姿勢で作業をしないでください。けがの原因になります。
- ・作業は、両足でしっかり踏ん張り、身体全体でバランスを取ってください。
 - ・作業は腕力だけで振り回さず、無理のない操作をしてください。
 - ・傾斜地の作業は滑りやすいので、足元に十分注意してください。



必ず守る

- 作業はゆとりを持って行なってください。より安全に作業していただくためです。
- ・取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して、慎重に作業してください。



必ず守る

- 連続作業は疲労による事故の原因になります。
- ・1回の作業時間は20分以内とし、10～20分休憩してください。

作業は連続3日を限度として、		
1回の連続作業時間：20分以内	1週の作業日数：	5日以内
1日の作業時間：	2時間以内	1月の作業時間：40時間以内



必ず守る

- 作業中は、進行方向に人や動物などがいないことを確認してください。ナタ爪（回転部）が当たり、けがの原因になります。
- ・これらが接近したときには、直ちにスイッチを放し、ナタ爪の回転を止めてください。



必ず守る

- ナタ爪（回転部）が延長コードの上を通ったり、延長コードがナタ爪（回転部）に巻付いたりしないようにしてください。延長コードが破損、切断され、感電のおそれがあります。
- ・延長コードは作業が終わった所をはわせてください。
 - ・万一、延長コードを切断した場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、新しいコードと交換してください。



電源プラグを抜く

- 次の場合は電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したままにしていると、けがの原因になります。
- ・作業を中止したり、移動するとき。
 - ・作業中に機械から離れるとき。
 - ・付属品を交換するとき。
 - ・使用しない、または点検や整備、修理をするとき。
 - ・機械の調子が悪かったり、異常音がしたとき。
 - ・その他危険が予想されるとき。

安全作業のため

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品について

保守と点検

安全上のご注意

警告

安全作業のため



回転部注意

ナタ爪（回転部）に草などが巻付いたときには、必ず電源プラグを抜いた後、ナタ爪（回転部）の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。

・草などを取除いたはずみで不意にナタ爪が回転し、けがの原因になります。



回転部注意

作業中、ナタ爪（回転部）を石や硬いものに当てないようにしてください。ナタ爪（回転部）が破損し、破片が飛散して、けがの原因になります。

・当たった場合は、必ずスイッチを切り電源プラグを抜いた後、ナタ爪の回転が停止したことを確認してから、ナタ爪に異常がないか確認してください。

・小石などが当たると、小石がはね飛ばされ、けがの原因になります。



点検・確認

誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、ナタ爪（回転部）や本体に亀裂、変形がないか確認してください。

・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



必ず守る

使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検修理を依頼してください。

・そのまま使用していると、けがの原因になります。



禁止

水中での使用は、絶対にしないでください。

・故障や感電の原因になります。



必ず守る

点検、整備をする場合は、本機が冷えるのを待って、作業してください。

・ギヤケースなど高温になる部分があり、やけどをするおそれがあります。



必ず守る

ナタ爪の点検、交換の際には、必ず電源プラグを抜いた後、ナタ爪の回転が停止したことを確認してから行なってください。



分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しないでください。

・発火したり、異常作動してけがの原因になります。

⚠ 注意

安全作業のために



よく読む

ナタ爪や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
・ 確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。



必ず守る

使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・ 感電のおそれがあります。



騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品について

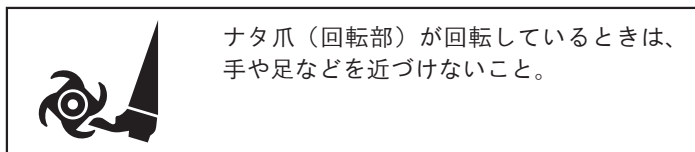
保守と点検

ラベル表示について

■警告ラベルについて

本機の下図の位置に警告ラベルを表示しています。

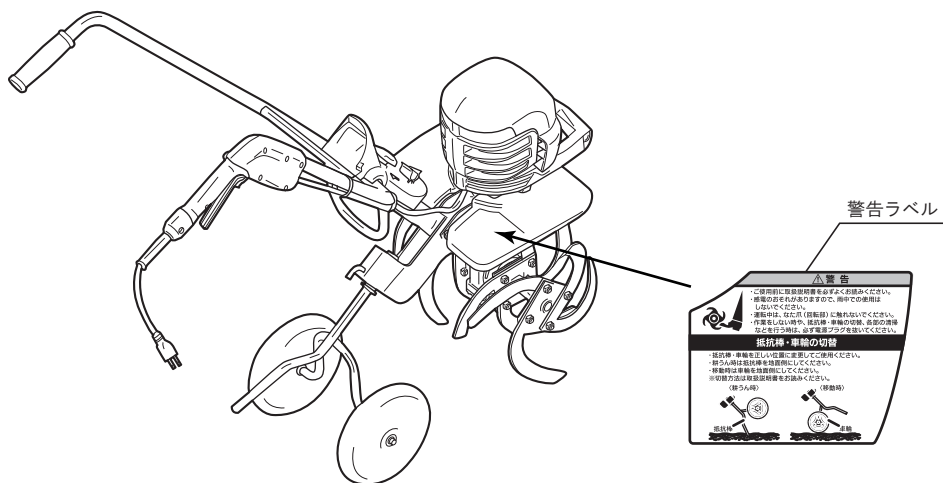
この警告ラベルの意味を十分ご理解のうえで使用してください。



（警告ラベルの取扱い）

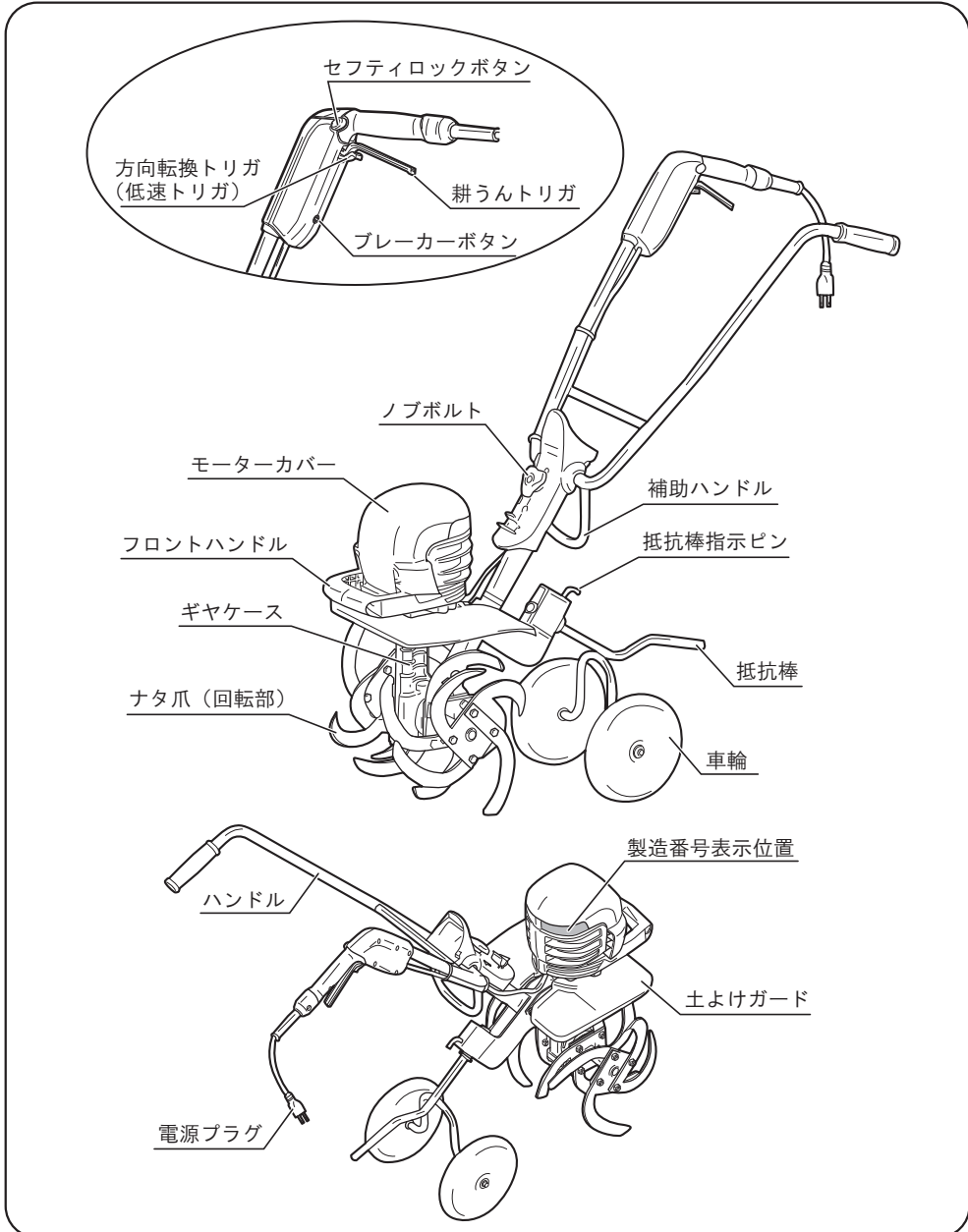
- ・ ラベルについた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- ・ ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。

（貼付け位置）



主要機能・名称

■各部の名称



安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品に
ついて

保守と点検

仕様・付属品・用途

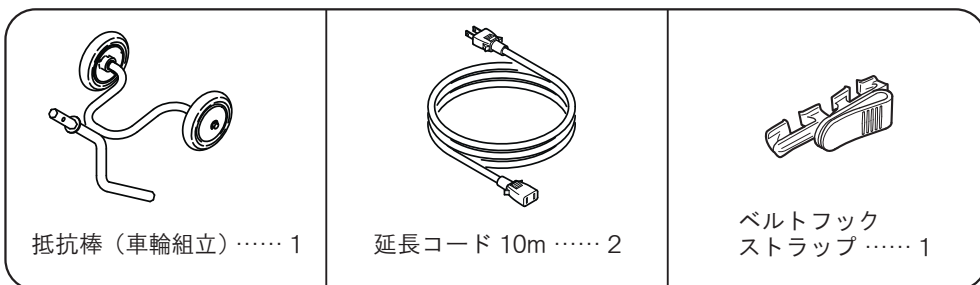
■仕様

- ・電源…………… 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・定格電流…………… 15A
- ・消費電力…………… 1,400W
- ・無負荷回転数…………… (耕うん時) 150min⁻¹
(方向転換時) 125min⁻¹
- ・最大耕うん幅…………… 360mm
- ・最大耕深…………… 280mm
- ・最大トルク…………… 90N・m
- ・操作…………… 両手ハンドル、折りたたみ式
- ・刃形…………… ナタ爪 4枚刃 (外径) 280mm
- ・本体寸法 (長さ×幅×高さ) …… 1,050 × 480 × 965mm
(※ 740 × 480 × 570mm)
- ・コード長さ…………… 0.36m
- ・質量…………… 18.5kg
- ・絶縁方式…………… 二重絶縁

※本体寸法の () 内は、収納時 (抵抗棒・車輪組立取外し、ハンドル折りたたみ) 寸法です。

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

■付属品



※ 本機の準備や保守などに次の工具を使用します。

付属はしておりませんので、ご準備ください。

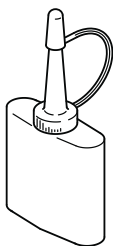
必要工具：⊖ ドライバー、六角棒レンチ (5mm)

■用途

- ・耕うん、中耕、培土、除草作業

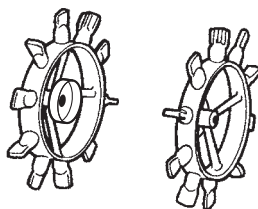
別販売品

ギヤオイル (100mL)



中耕車輪 (26 ページ参照)

- ・用途 …… 中耕、培土作業時のけん引



- ・外径 …… 290mm
- ・リム径 …… 206mm
- ・リム幅 …… 38mm
- ・耕幅 …… 132mm

巻込み防止ガイド組立

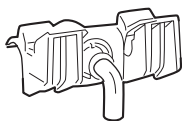
- ・巻込み防止ガイドを使用すると、本体から延長コードを離れたところに置いて作業ができ、ナタ爪へのコードの巻込みや切断防止になります。

巻込み防止ガイド

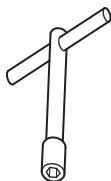


パーホルダー

巻込み防止ガイドを取付けるために必要なホルダーです。

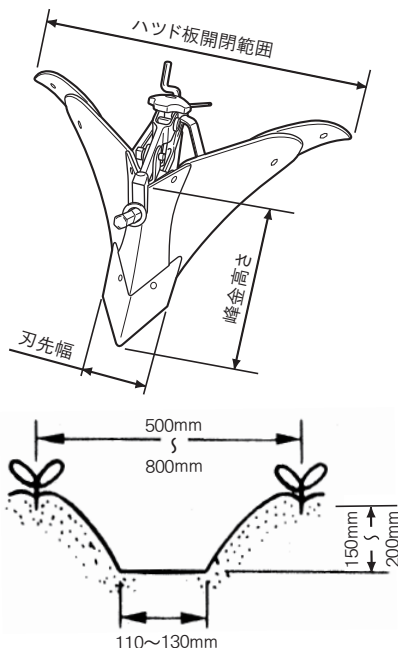


T型ボックススパナ
10mm (取付工具)



培土器 (28 ページ参照)

- ・用途 …… うね立、培土作業



- ・峰金高さ …… 200mm
- ・刃先幅 …… 110mm
- ・ハツド板開閉範囲 …… 460 ~ 700mm

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

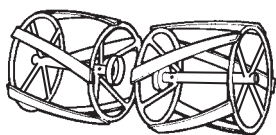
別販売品について

保守と点検

別販売品

スパイラルローター (27 ページ参照)

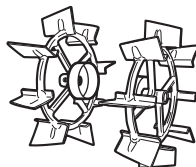
- ・用途 …… 除草作業



- ・外径 …………… 250mm
- ・幅 …………… 230mm
- ・刃数 …………… 5 枚
- ・作業幅 …………… 507mm

培土けん引車輪 (26 ページ参照)

- ・用途 …… 中耕、培土作業時のけん引
(中耕車輪よりけん引力が大きくなります)



- ・外径 …………… 270mm
- ・リム径 …………… 180mm
- ・ラグ数 …………… 8 枚
- ・ラグ幅 …………… 74mm
- ・車輪取付幅 …………… 218mm

準 備

■ ご使用前の準備

● 作業する場所に関して

- ・作業を始める前に現場の状況（地形、傷害物の位置、周囲の危険度など）をよく確かめ、移動可能な傷害物は除去してください。

● 漏電しゃ断器設置のおすすめ

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、定格感度電流が 30mA 以下の漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードについて

⚠ 警告



必ず守る

・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・付属品の延長コード（10m：2本）では電源からの距離が遠く、長さが足りない場合には別の延長コードを用意してください。
- ・延長コードの最大長さは、付属品の延長コードを含み、コードの太さが1.25mm²以上のもので30m以内で使用してください。



- ・市販の延長コードを使用する場合は、機械の性能を十分に発揮させるため電流を流すのに十分な太さで、できる限り短いコードを使用してください。
長すぎる延長コードは電圧降下により、十分な性能が発揮されないだけでなく、モーター焼けの原因にもなります。
- ・ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱などによる電圧降下や火災事故を防止するために、コードを全て引出して使用してください。

●電源コードの接続

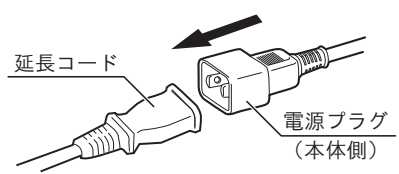
⚠ 警告



必ず守る

・電源プラグ（本体側）を延長コードに接続する前にスイッチが切れていること、延長コードの電源プラグが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

- ・電源プラグを延長コードに接続します。



ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱などによる電圧降下や火災事故を防止するために、コードを全て引出して使用してください。

●ギヤオイルについて

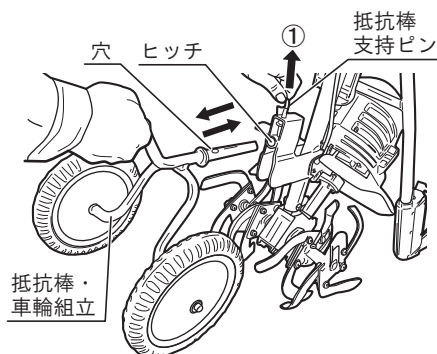
- ・出荷時にギヤケースにギヤオイルを入れてありますので、購入時にはギヤオイルを注油する必要はありません。その後は、実働30時間を目安にギヤオイルを交換してください。（32～33ページ『■ギヤオイルの交換』参照）

準備

■ 抵抗棒・車輪組立の取付け、取外し

● 取付け

1. 抵抗棒支持ピンを矢印①の方向に引いたまま、抵抗棒・車輪組立をヒッチにさし込みます。
2. 抵抗棒・車輪組立の穴に抵抗棒支持ピンが入るように合わせ、抵抗棒支持ピンを放し固定します。



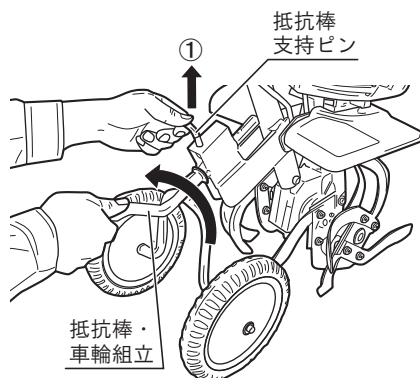

抵抗棒・車輪組立が引っ張って抜けないことを確認してください。


● 取外し

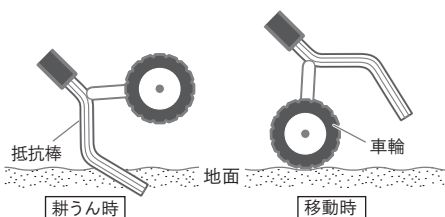
- ・ 抵抗棒支持ピンを矢印①の方向に引いたまま、ヒッチより抵抗棒・車輪組立を取外します。

● 抵抗棒と車輪の切換え

- ・ 抵抗棒支持ピンを矢印①の方向に引いたまま、抵抗棒・車輪組立を回転させ、抵抗棒支持ピンを放し固定します。
- ※ 抵抗棒・車輪組立をさし込んだ状態で回転できます。

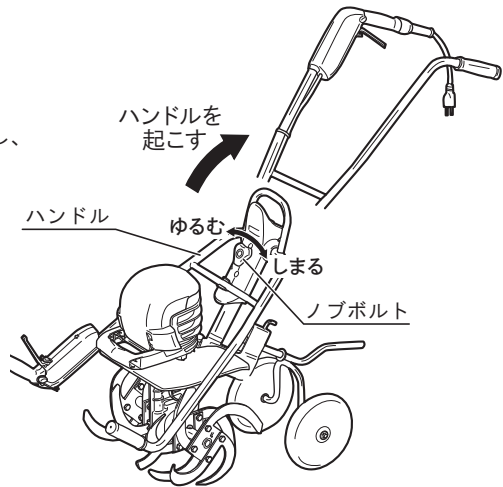
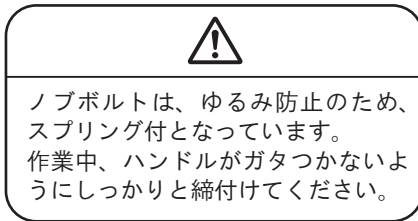



耕うん時は、抵抗棒を地面側にしてください。
移動時は、車輪を地面側にしてください。



■ハンドル

1. ハンドルを矢印方向に起こします。
2. ノブボルトを「しめる」の方向に回し、ハンドルを締付けて固定します。



■ご使用前の点検

警告

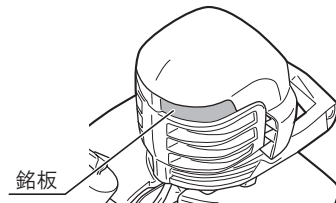


点検・確認

- ・ ご使用前に次のことを確認してください。
- ①～④項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。
- ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。不意に起動し思わぬ事故の原因になります。

① 使用電源

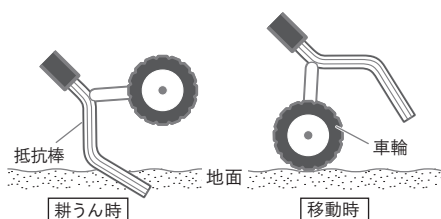
- ・ 必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速になり、本体が破損するおそれがあります。



準備

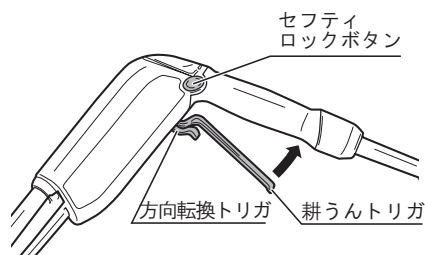
② 抵抗棒・車輪組立の位置確認

- ・ 耕うん時は、抵抗棒を地面側にしてください。
- ・ 移動時は、車輪を地面側にしてください。



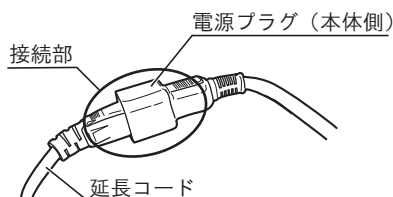
③ スイッチ操作

- ・ スイッチは、セフティロックボタンを押えた状態で耕うんトリガ（方向転換トリガ）を引くと入ります。耕うんトリガ（方向転換トリガ）を放すと切れます。耕うんトリガ（方向転換トリガ）を放したとき、耕うんトリガ（方向転換トリガ）が戻ることを必ず確認してください。



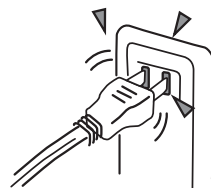
④ 電源プラグの接続

- ・ 接続部が確実にさし込まれていることを確認してください。付属品のコードストラップに通すと接続部が抜けにくくなります。（23 ページ「**■**ベルトフックストラップの使い方」参照）



⑤ 電源コンセント

- ・ 電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタついたり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、事故や故障の原因になります。



使い方

■スイッチの扱い方

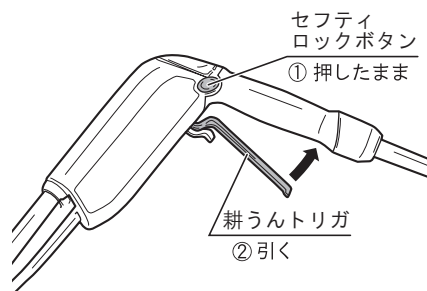
警告



必ず守る

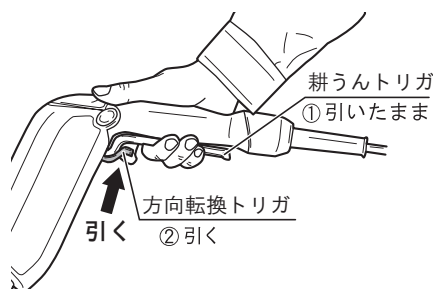
- ・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、モーターの回転が異常に高速になり、本体が損傷するおそれがあります。
- ・セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

- ・本機はセフティスイッチを採用しています。セフティロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- ・セフティロックボタンを押さえた状態で耕うんトリガを引くとスイッチが入り、ナタ爪が回転します。
- ・耕うんトリガを放すとスイッチは切れます。



方向転換トリガ（低速トリガ）

- ・方向転換や畑を移動するときに使用します。
- ・耕うんトリガを引いた状態で、方向転換トリガを引くと低速回転となります。
- ・方向転換トリガを放すと通常の回転に切り替わります。



方向転換トリガを引いた状態で耕うん作業しないでください。モーターに負担がかかり、故障の原因になります。

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

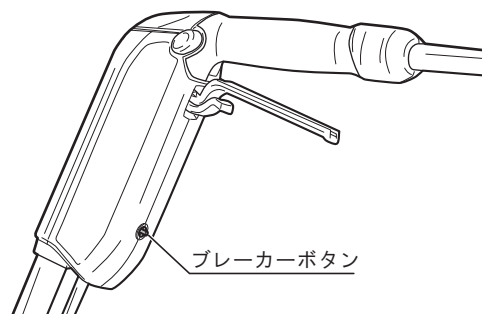
別販売品について

保守と点検

使い方

■ 過負荷保護装置（ブレーカー）について

- ・ 使用中、モーターに負荷がかかり過ぎると過負荷保護装置（ブレーカー）が働き電源が切れます。
- ・ 作業を再開する場合は、必ず電源プラグを抜き、過負荷の原因を取除いた後、30秒程経過した後にブレーカーボタンを押してください。



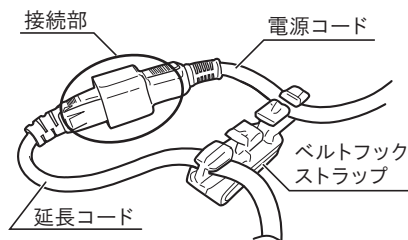
■ ベルトフックストラップの使い方

● 電源コード、延長コードの接続

- ・ 本体の電源コードを延長コードに接続します。

電源コード、延長コードを右図のようにベルトフックストラップに通すと接続部が抜けにくくなります。

- ※ 市販の延長コードは、太さによってはベルトフックストラップを使用できないことがあります。



■ 耕うん作業

⚠ 警 告



必ず守る

- ・スイッチを入れるときは、周囲に人、動物、障害物がないか確認し、本機をしっかりと保持してください。
- ・スイッチを入れるときは、ナタ爪（回転部）の前に立たないでください。けがの原因になります。
- ・スイッチを入れると同時にナタ爪（回転部）が回転しますので、安全を十分に確かめてから始動してください。
- ・セフティロックボタンを押込んだ状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。
- ・作業中は、進行方向に人や動物がいないこと、電源コードがないことを十分確認してください。
- ・作業中は、ナタ爪（回転部）に手足や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ・無理な姿勢で作業しないでください。けがの原因になります。作業は、両足でしっかり踏ん張り、身体全体でバランスを取ってください。
- ・作業中、ナタ爪（回転部）を石や硬いものに当てないようにしてください。ナタ爪が破損し、破片が飛散して、けがの原因になります。
- ・ナタ爪（回転部）が延長コードの上を通ったり、延長コードがナタ爪に巻付いたりしないようにしてください。延長コードが破損、切断され、感電のおそれがあります。
- ・ナタ爪（回転部）に草などが巻付いたときには、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた後、ナタ爪の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。
- ・万一、延長コードを切断した場合は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、新しいコードと交換してください。感電のおそれがあります。

⚠ 注 意



よく読む

- ・付属品は、取扱説明書に従って、確実に取付けてください。確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品について

保守と点検

使い方

(作業手順)

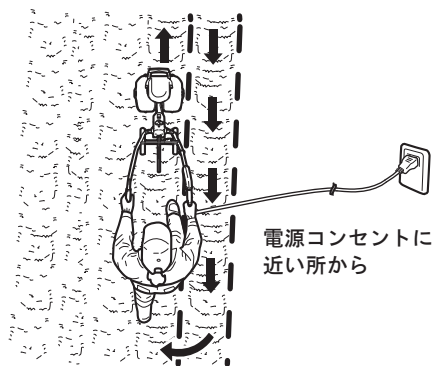
1. 本体の電源プラグを延長コードに接続し、延長コードの電源プラグを電源コンセントにさし込みます。(18ページ「●電源コードの接続」参照)
2. スイッチを入れる。(22ページ「■スイッチの扱い方」参照)
3. 作業する。(24～25ページ「■耕うん作業」参照)
4. 作業が終わったらスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●電源コンセントに近い方から

- ・ 耕うんは、電源コンセントに近い所から行なってください。
- ・ 余分なコードは作業が終わった所をはわせてください。



本体が延長コードの上を通ったりして、コードを本体下部へ巻込まないようにしてください。



●基本的な作業

- ・ ハンドルを両手でしっかり握り、移動が安全で容易な体勢で作業をします。
- ・ スイッチ操作を行えば、ナタ爪(回転部)が回転し、耕うん作業が行なえます。
- ・ 土を深く掘る場合は、ゆっくり移動させながら作業を行なうと、容易にできます。

●抵抗棒の使用

- ・ ハンドルを下前方に少し押さえるようにして、抵抗棒に抵抗をかけながら作業をしてください。
- ・ ハンドルを下に押さえ過ぎるとナタ爪(回転部)が地面から浮いたり、引上げ過ぎると本機が飛出したりしますので、加減しながら作業をしてください。



別販売品について

- ・ギヤケースには、運転者側から見て、左側に「L」、右側に「R」の刻印が打ってあります。
(30～31 ページ「■ナタ爪の取付け、取外し」参照)

培土けん引車輪、スパイラルローターについては、「右」、「左」の表示と向きに注意して取付けてください。

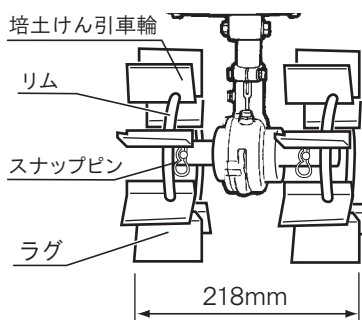
■培土けん引車輪

中耕、培土作業を行なうときに培土けん引車輪を使用します。

- ・ ナタ爪（回転部）を取外し、培土けん引車輪を図のような方向に取付けてください。
- ※ 中耕、培土を同時に行なう場合は、別販売品の培土器を併用して作業を行なってください。（培土器については、28 ページをお読みください。）



ナタ爪の取付け取外しは、
30～31 ページをお読みください。



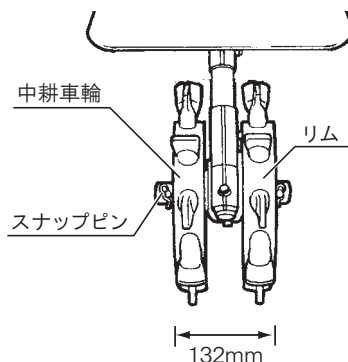
■中耕車輪

中耕、培土作業を行なうときに中耕車輪を使用します。

- ・ ナタ爪（回転部）を取外し、中耕車輪を取付けてください。
- ※ 中耕、培土を同時に行なう場合は、別販売品の培土器を併用して作業を行なってください。（培土器については、28 ページをお読みください。）



ナタ爪の取付け取外しは、
30～31 ページをお読みください。



安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品について

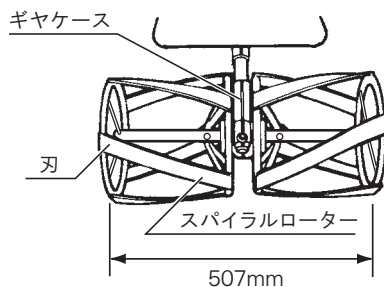
保守と点検

別販売品について

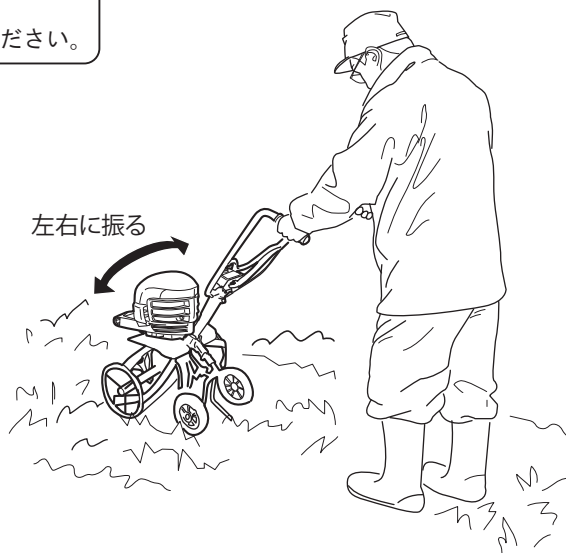
■スパイラルローター

除草作業を行なうときにスパイラルローターを使用します。

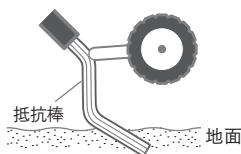
- ・ ナタ爪（回転部）を取外し、スパイラルローターを図のような方向に取付けてください。
- ・ 作業は、ギヤケース部分の刈り残しがないように本体を多少左右に振りながら行なうと効率よく行なえます。



ナタ爪の取付け取外しは、
30～31 ページをお読みください。



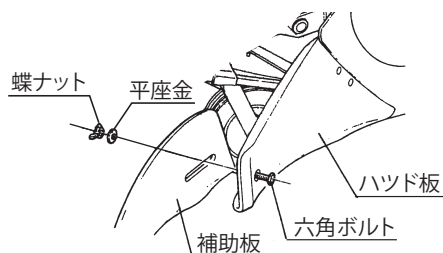
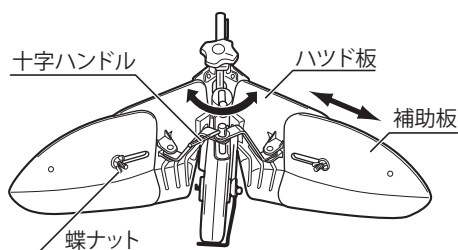
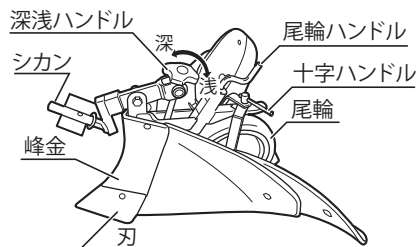
抵抗棒は、地面側に向けてください。



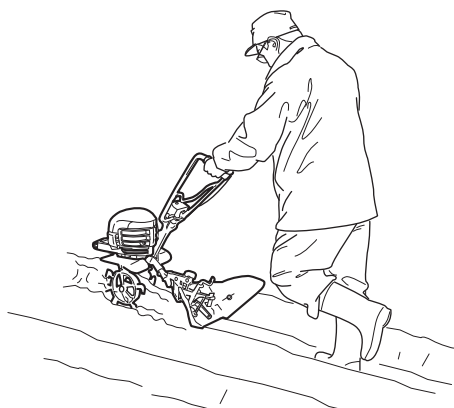
■ 培土器

うね立、培土作業を行なうときに培土器を使用します。

1. 抵抗棒を取外します。
(19ページ「■抵抗棒・車輪組立の取付け、取外し」参照)
 2. 培土器のシカンを本体のヒッチにさし込みます。
(19ページ「■抵抗棒・車輪組立の取付け、取外し」と同様に取付けます)
 3. 深浅ハンドルを回し、培土器が地面と水平になるようにセットします。
 4. うね立てを行ない、うねが浅いときは深浅ハンドルを「深」方向に、深すぎるときは「浅」方向に回し作りたいうね高さに調整します。
 5. うねの間隔は、培土器の十字ハンドルをゆるめ、ハツド板の開閉を行ない調整します。
- ※ 蝶ナットをゆるめ、補助板を前後に動かしても調整できます。
6. うね高さ、間隔がほぼ調整できたら、尾輪が地面に当たるように尾輪ハンドルを調整します。



- ・ うね間の中耕、培土を同時に行なう場合、および狭いうね間を培土する場合は、培土けん引車輪や中耕車輪を併用して作業をしてください。
- ・ 粘土質の田畑などでは使用しないでください。モーターに負担がかかり故障の原因になります。



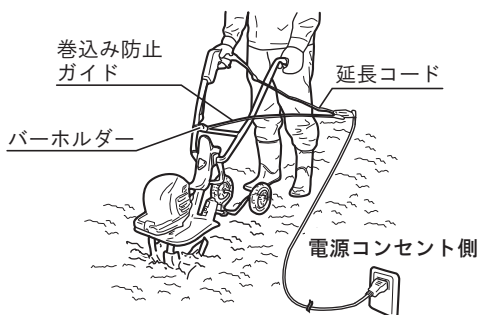
別販売品について

■ 巻き込み防止ガイド組立

- ・ 巻き込み防止ガイドを使用すると、本体から延長コードを離れたところに置くことができます。ナタ爪への巻き込みやコードの切断防止になります。
- ・ ご使用の際は、巻き込み防止ガイド組立に同梱されている取扱説明書をよくお読みください。

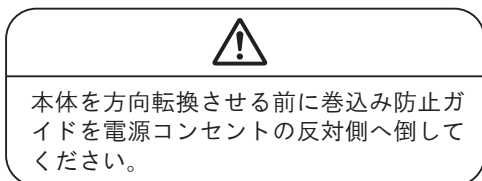
- ・ 電源コンセント側に巻き込み防止ガイドを倒して作業します。

- ※ バーホルダーは巻き込み防止ガイド組立に同梱されています。

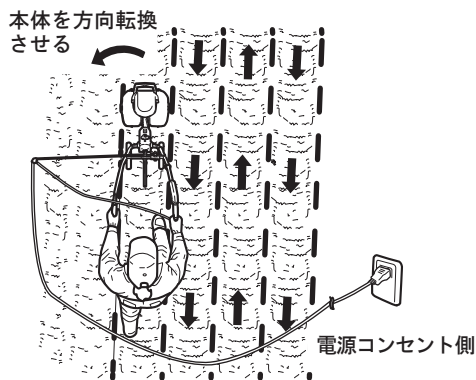
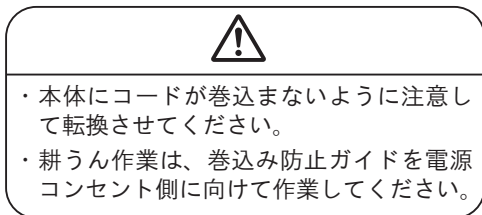


(本体を方向転換させて作業する場合)

1. 本体を停止させます。
2. 巻き込み防止ガイドを矢印方向（電源コンセントの反対側）へ倒します。



3. ハンドルを上げます。
 - ・ 抵抗棒を地面から抜きます。
4. 方向転換トリガ（低速トリガ）を引き、矢印方向に本体を転換させます。



保守と点検

警告



電源プラグ
を抜く



分解禁止

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。
- ・絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

お買い上げいただきました電気カルチベータを、いつまでも調子よく保つため、定期点検を行なってください。

ほこりの多い作業の場合、1回の作業毎に清掃してください。

点検項目 \ 点検時間	作業前点検	※1 30 時間毎
ナタ爪（回転部）	○	
ギヤケース		※2 ○ (ギヤオイル交換)

※1 ギヤオイルは徐々に劣化しますので、実働時間に関係なく、少なくとも年1回は交換してください。

※2 出荷時には、ギヤケースにギヤオイルを入れてあります。

■ナタ爪の取付け、取外し

警告



必ず守る

- ・ナタ爪の取付け、取外しの際は、爪先にウエスなどを巻付け、手袋を着用してください。けがの原因になります。
- ・ナタ爪が確実に取付けられていることを確認してください。事故やけがの原因になります。

- ・使用後は汚れを取除き、破損、異常がないことを点検してください。
- ・ナタ爪に石などの異物が挟まったり、草などが絡み取れなくなったときは、ナタ爪を取外し、これらのものを除去してください。異常がないかどうかも点検してください。
- ・運転中は、絶対にナタ爪（回転部）に触れないでください。

安全上のご注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

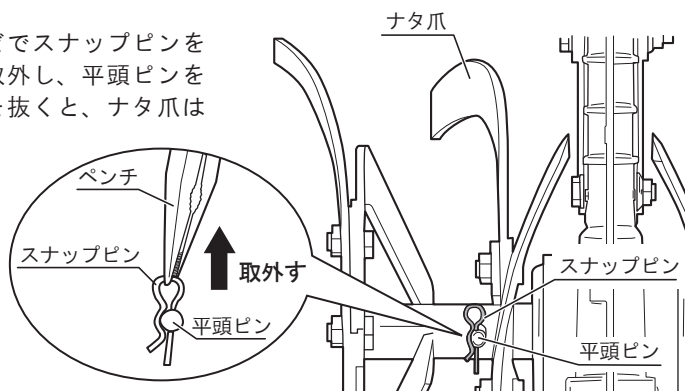
別販売品についで

保守と点検

保守と点検

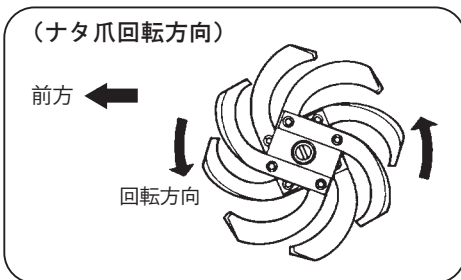
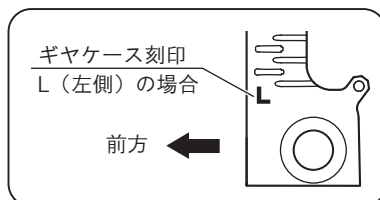
(取外し)

- ・ お手持ちのペンチなどでスナップピンをつかみ、引っ張って取外し、平頭ピンを抜きます。平頭ピンを抜くと、ナタ爪は簡単に外せます。

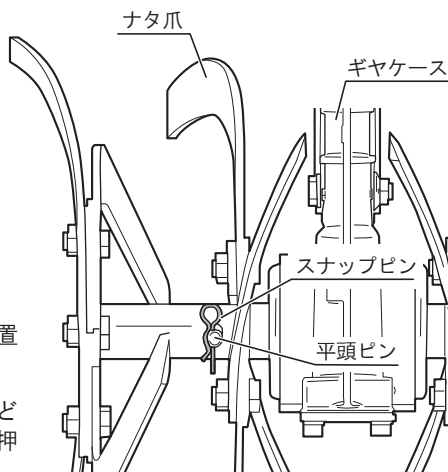


(取付け)

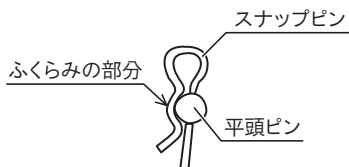
- ・ ギヤケースには、運転者側から見て、左側に「L」、右側に「R」の刻印が打ってあります。
- ・ ナタ爪の「L」、「R」の表示と回転方向に注意して、元の状態に組付けます。



1. ナタ爪を回転軸に入れ、平頭ピン用の穴位置を合わせてください。
2. 穴に平頭ピンを通し、お手持ちのペンチなどでスナップピンをつかみ、平頭ピンの穴に押込んでください。



スナップピンは、確実にふくらみの部分まで入っていることを確認してください。



■ギヤオイルの交換

- ・実働 30 時間を目安にギヤオイルを交換してください。
出荷時には、ギヤケースにギヤオイルを入れてあります。
オイルは、当社指定のギヤオイルを使用してください。(16 ページ「別販売品」参照)

⚠ 注 意

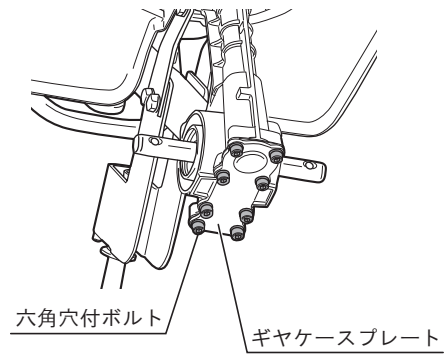


必ず守る

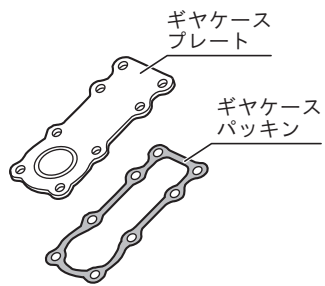
- ・ギヤオイルは、オイルシールやパッキンなどの経年劣化で微量にもれることがあります。ギヤオイルが多量にもれるとギヤ破損の原因になりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・ギヤオイルは徐々に劣化しますので、実働時間に関係なく、少なくとも年 1 回は交換してください。
- ・ギヤオイルは、当社指定のギヤオイルを使用してください。

(オイルの交換手順)

1. ナタ爪を取外します。(30 ~ 31 ページ「■ナタ爪の取付け、取外し」参照)
2. ギヤケースプレート周りを清掃します。
※ ギヤケースプレート、六角穴付ボルトの土など異物を取除いてください。



3. お手持ちの六角棒レンチ (5mm) などで六角穴付ボルトをゆるめてギヤケースプレートを取外し、古いオイルを抜いてください。



※ギヤケースプレートからギヤケースパッキンを剥がす必要はありません。



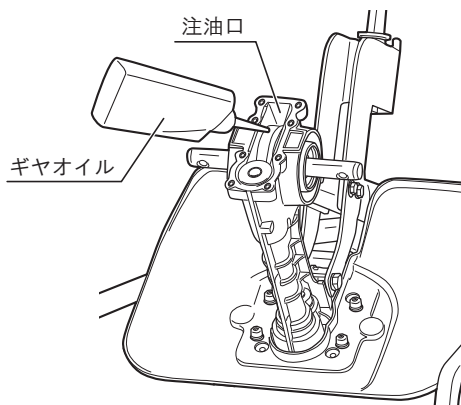
オイルを抜く際は、周囲や衣服等の汚れにご注意ください。

保守と点検

4. オイルの抜取りを十分行なった後、本機を裏返し、当社指定のギヤオイルを約60mL 注油してください。



ギヤケースパッキンに傷などがある場合は、新品と交換し、六角穴付ボルトをしっかりと締付けてください。

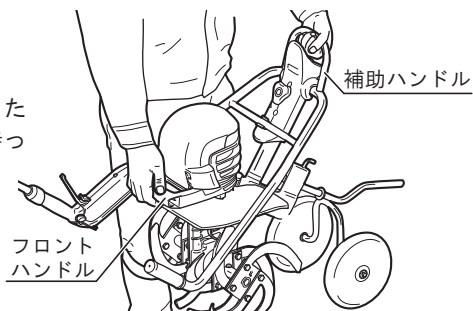


5. 注油後、ナタ爪を取付けます。(30～31ページ「■ナタ爪の取付け、取外し」参照)

■ 運搬

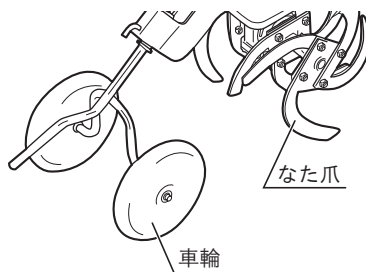
● 持運び

- ・ 本機を持運ぶ場合は、ハンドルを折りたたみ、フロントハンドルと補助ハンドルを持ってください。



● 移動

- ・ 本機を移動するときは、車輪を地面側にし、ナタ爪（回転部）を浮かせて押し進んでください。

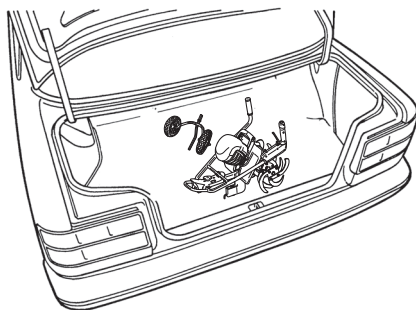


● 車載

- ・ 本機から抵抗棒・車輪組立を外して、車のトランクに載せてください。このとき、本機が倒れないように、あて木、ロープなどで固定してください。



- ・ 車の種類によっては、積載できないことがあります。
- ・ 車内の汚れ防止のため、ビニールシートなどの使用をおすすめします。



保守と点検

■各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

■使用後の手入れ

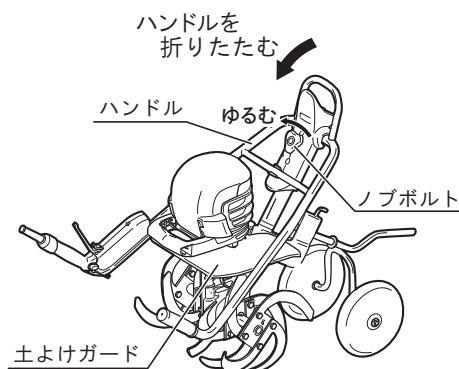
- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためますので、使用しないでください。

■ナタ爪（回転部）の手入れ

- ・ナタ爪（回転部）は常に手入れをしてください。
- ・ナタ爪（回転部）を水洗いする場合は、土よけガードより上に水がかからないようにしてください。
※ ナタ爪を取外して、取付部（軸受部）に直接高圧水をかけないでください。オイルシールの破損による故障の原因になります。
- ・水中に浸けての清掃は、絶対にしないでください。ギヤケースが損傷するおそれがあります。

■作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。
お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
- ・ハンドルを折りたたむと、コンパクトに収納できます。

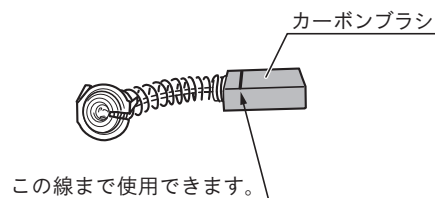


■修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

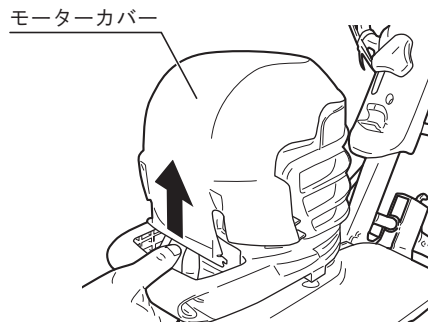
■カーボンブラシについて

- ・本機はモーター部に消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは全長の1/3（線の入った位置）程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。

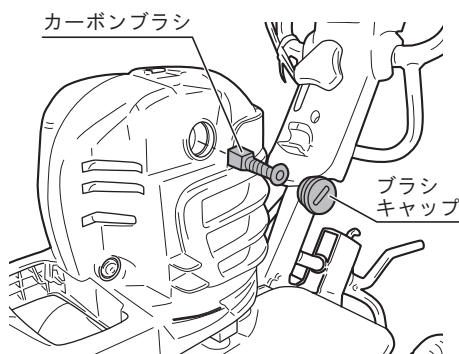


（カーボンブラシの交換）

1. モーターカバーを少し手前に引いた後、矢印の方向に引上げ、取外します。



2. ブラシキャップをお手持ちの⊖ドライバーで取外し、カーボンブラシを取出します。



3. カーボンブラシを交換します。
カーボンブラシは2個1セットです。
交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも同時に交換してください。
4. ブラシキャップ、モーターカバーを取外し手順と逆の要領で取付けてください。

安全上の注意

主要機能・名称・用途

準備

使い方

別販売品について

保守と点検

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

症状	原因	処置
スイッチを入れても ナタ爪が回らない。	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。	電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。
	延長コードがはずれていませんか。	延長コードと電源プラグを接続してください。
	コードが途中で切れたり、断線していませんか。	延長コードを取替えてみるか、他の電気用品でお確かめください。
	セフティロックボタンが押されていますか。	セフティロックボタンを押さえた状態で、耕うんトリガを引いてください。
	本機の過負荷保護装置（ブレーカー）が作動していませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、過負荷の原因を取除いた後、30秒程経過した後にブレーカーボタンを押して解除してください。
	ナタ爪（回転部）取付け用の平頭ピン、スナップピンがはずれていませんか。	平頭ピンとスナップピンを確実に取付けてください。
作業中に突然停止した。	以下の原因により、本機の過負荷保護装置（ブレーカー）が作動していませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、過負荷の原因を取除いた後、30秒程経過した後にブレーカボタンを押して解除してください。
	①耕うんが深すぎませんか。	耕うんの深さを浅くしてください。
	②ナタ爪（回転部）に石などの異物が挟まっていますか。または、草などが巻付いていませんか。	スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから異物などを取除いてください。
作業中に急に音が変わったり、振動が大きくなった。	ナタ爪（回転部）に草などが巻付いていませんか。	スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから草などを取除いてください。
	ナタ爪（回転部）が欠けたり、変形していませんか。	新しいナタ爪に交換してください。

※これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

QRコードまたはURLからご確認ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ

 **0570-666-787**

受付時間：
月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで
※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、QRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

持込修理

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名	ACV-1500	製造番号（表示位置は「■各部の名称」をご確認ください）
お客様	お名前	
	ご住所 〒	
		電話 ()
お買い上げ日	年 月 日	保証期間（お買い上げ日より） 1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
 - 水の浸入による故障または損傷
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
 - 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷
 - 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
 - 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
 - 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのじみなどの感覚的現象
 - 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

